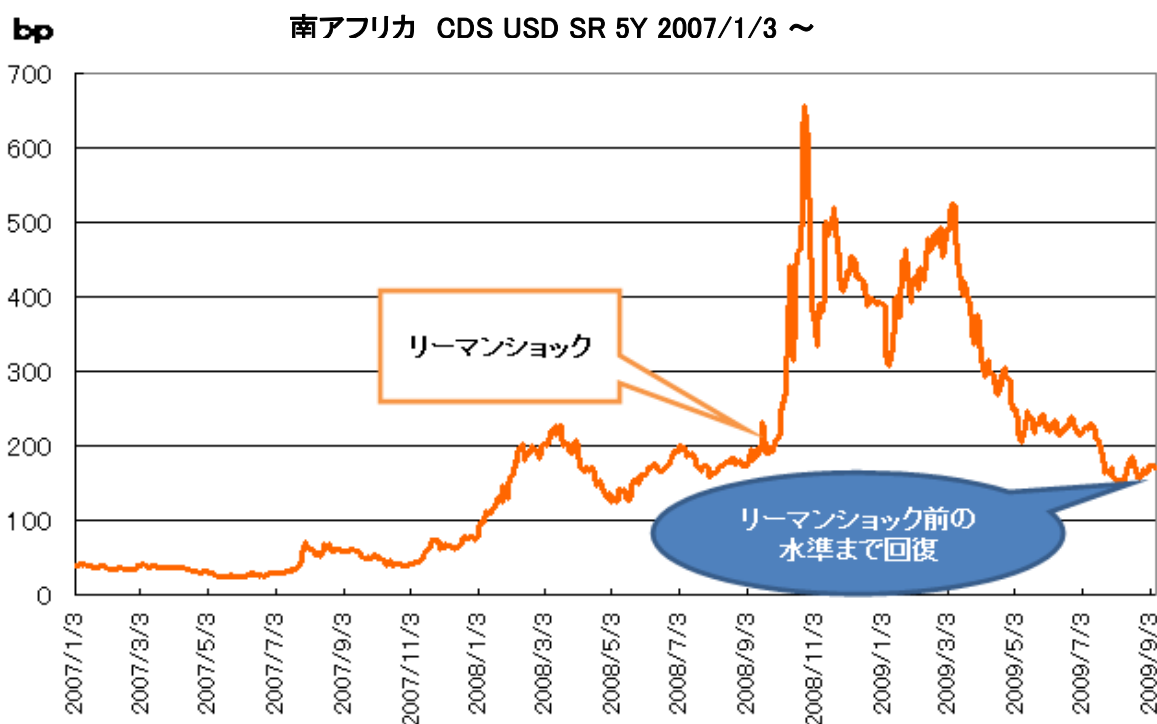


南アフリカ共和国のデフォルトリスクはリーマンショック前の水準に回復

債券のデフォルト確率を反映しているCDS(クレジット・デフォルト・スワップ※)スプレッドの水準は、リーマンショック(2008/9/15)をきっかけに急上昇しました。特に、新興国の債券は軒並みデフォルト懸念から投げ売られました。南アフリカ共和国も例外ではなく、一時は655bp(6.55%)までスプレッドが拡大しましたが、2009年3月以降は急速な落ち着きを見せ始め、7月中盤に入り、とうとうリーマンショック前の水準180bp(1.8%)前後に並び、そして直近は下回る流れになりました。2009年9月7日現在のCDSは171bp(1.71%)まで低下しており、世界の投資家が南アフリカ共和国のデフォルトリスクは正常化しつつあるとの認識の表れであると考えられます。(※CDS:国の債務不履行による損失に備えた保険の保証料率のこと。不履行となる可能性が高まると、保険料が高くなりやすい。)



出所: Bloombergのデータをもとに楽天証券作

デフォルトリスクの回復と共に為替相場の上昇を期待

上記の様に、現時点では、デフォルトリスクに関してはリーマンショック前に戻りました。為替に関しても少し遅れていますが、戻りつつあります。

リーマンショック前の南アフリカ・ランド/円のレートは、概ね1南アフリカ・ランド=13.00円~14.00円でしたが、2009年9月7日現在では、1南アフリカ・ランド=12.27円です。南アフリカ共和国は、来年開催されるサッカーワールドカップをきっかけに各種インフラ整備が整い、経済成長を計画しています。

また、金、プラチナ、パラジウムなどの商品相場が落ち着きを取り戻し、資源国でもある南アフリカに対する見方が安定的なものになっていくのであれば、更なる資金が向かい始めることも期待できそうです。

参照: Bloomberg

本資料は情報の提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘する目的で、作成したものではありません。銘柄の選択、売買価格等の投資の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。本資料の情報は、弊社が信頼できると判断した情報源から入手したものです。その情報源の確実性を保証したものではありません。本資料の記載内容に関するご質問・ご照会等には一切お答え致しかねますので予めご了承をお願いいたします。また、本資料の記載内容は、予告なしに変更することがあります。

